

# 令和2年度 学力向上を図るための全体計画

武蔵村山市立第二小学校

<b>関係法規等</b> ○学習指導要領 ○武蔵村山市教育委員会教育目標及び基本方針 ○武蔵村山市立学校の学力向上策	<b>学校教育目標</b> 責任感をもち、自ら進んで、積極的に、ねばり強く物事に取り組める子供を育成する。	<b>期待される児童像</b> ◎考える子 ○やさしい子 ○強い子
---	--	--

学校経営方針（学力向上にかかわる要点）
○自信をもち学びに向かう力（学びのエンジン）を育てる。 ○少人数指導・T.T・合同学習・外部講師等、指導形態や指導方法、指導計画の改善を進め、基礎・基本の定着を図る。 ○授業改善推進プランを基に、評価規準と各教科等の基礎・基本を吟味し直し、段階別個別学習や <u>形成的指導評価</u> を工夫し、指導と評価の一体化に努める。

指導内容	小学校における「定着させたい学力」	重点
各教科	基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る。	ねらい及び活動の目標が明確な指導をする。
特別の教科 道徳	教育活動を通して、道徳的心情や判断力を高め、豊かな人間性を育てる。	ワークシート等を活用して、児童が学習に取り組み、仲間と考えるようにする。
総合的な学習の時間	人、自然、地域との関わりを重視し、二小の伝統と文化を生かした活動を推進する中で郷土を愛する心を育てる。	地域の人や伝統、行事を重視した指導を行っていく。
特別活動	集団活動を通じて集団の一員としての自覚を深め、調和のとれた人間性を育てる。	縦割り班活動の充実を図り、異学年集団の活動を通して、人間関係やリーダーシップを養い、フォローアップを図る。
キャリア教育	当番や委員会を通して、働くことの意義を理解し望ましい勤労観や意欲的に生活していく態度を育てる。	自ら粘り強く目標達成に向けて努力し、積極的に関わる態度を育てる。
生活指導	安全指導の徹底を図る。 人権尊重の精神を育てる。	「安全」「健康」「行動」について自主的に判断できるようにし、積極的に行動させる。

本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究や研修の工夫	評価の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数指導・T.T及び習熟度別学習の指導法の工夫によるきめ細かな指導。</li> <li>年間指導・評価計画を基に見通しをもった指導及び日々の授業評価の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少人数指導・T.T及び習熟度別学習の指導法の工夫によるきめ細かな指導。</li> <li>年間指導・評価計画を基に見通しをもった指導及び日々の授業評価の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善推進プランに基づく授業改善を進め、基礎・基本の定着を図る。</li> <li>学年・専科研究会の内容の充実。</li> <li>長期休業中における個別研修の充実。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>形成的評価を重視し一人一人の児童の考えのよさを認め励ます。</li> <li>週案簿や座席表等を活用した、個に応じた評価を実施する。</li> <li>児童・保護者による授業評価を計画し実施する。</li> <li>外部評価を実施し活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校公開、道徳授業地区公開講座等を実施し開かれた学校を目指す。</li> <li>毎月の定例相談日及び個人面談を通して望ましい児童の育成に努める。</li> <li>コミュニティスクール準備作業を通して地域と連携する。</li> </ul>

授業改善推進のために全校共通で取り組む事項				
学習が遅れがちな児童への支援	授業規律・学習ルールの確立	読書習慣の形成	学習意欲を高める方策と評価	家庭学習の習慣化
<ul style="list-style-type: none"> <li>児童一人一人の課題解決のための時間を確保する。</li> <li>少人数指導・T.T指導の効果的な指導法を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続的な学びを進めるため準備を十分に行う。</li> <li>学級における学びの約束の徹底（チャイム着席・教室移動時の整列等）</li> <li>板書スタイルやノート指導の共通化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の語彙を増やすための読書活動の充実を図る。</li> <li>年3回の読書週間を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供の生活に即した教材を取り入れ、児童の学習への興味関心を高める。</li> <li>一人一人が課題をもち、自力で解決し、学びを深めていくことができる話し合い活動をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあてに向かって継続的に学習・生活・読書に取り組めるよう家庭学習の習慣化を図る。</li> <li>保護者会等を活用し、家庭学習や生活習慣の重要性について啓発する。</li> </ul>